

## 豚の睡眠八時間のこの妙理 手間ひま軽く寝る子は育つ

豚は「食べては寝てばかりいる」ものの代表みたいに思われているが、それは反芻動物の特性で、豚はむしろ合理的な食性と睡眠の代表なのである。

その証拠として、クイズをひとつ進呈しておく。

- ウマ 二時間 ○ゾウ 三時間 ○ネコ 十四時間 ○アルマジロ 十七時間  
○ヒツジ 三時間 ○ハリネズミ 十時間 ○北極ギツネ 十二時間

にたいして、豚の八時間は「いったい何の時間か」が問いである。

答えは、それぞれの動物の睡眠時間で、あのからだの大きなゾウやウマがたったの二、三時間しか眠らないのが意外なら、人間の指先ほどしかないハリネズミが十時間も眠るというのも意外。

それに対して豚の八時間は、考えてみればみるほど、うなりたくなるような数字なのである。

というのも、豚があつた反芻動物たちのように、短時間草を食べてはしばらく眠り、しばらく寝てはふたたび採食するといった習性だったら、人間がそれに合わせて豚を飼うことはかなり難儀な仕事だったに違いない。

ところが現実には、豚の方で人間に合わせるかのように適当にまとめ食いをし、睡眠も人間並みの八時間でOKと来ては、餌さえうまく与えておけば、夜中に豚たちに大騒ぎされることもなく、ほとんど手のかからない家畜である。

それに、豚は適当に利口で、かのローマの昔から、角笛一本で集団行動するよう容易に訓練することができたのだった。

また、同時代の農業書も、いち早く、豚を飼うのに理想的な土地としてカシ、ブナ、野性のオリーブ、ハシバミなどの常緑針葉樹、イラクサ、ブドウのつる、ミズキ、ツツジ、バラ、スモモ類、野性の西洋ナシなどの樹林の広がる土地を挙げているから、古来、豚ほど飼い易い家畜はいなかったと思われる。

その豚が人間並みの八時間の睡眠で頑張っているのは、むしろ美談なのである。

### クイズ・知識

#### ランドレース種とは？

デンマーク原産の白色種の豚です。

耳が大きく前方に垂れて顔を覆い、胴が長く流線型なのが特徴です。

繁殖力が高く、一回に11〜12頭の子豚を生みます。

各国で改良されており、日本へは昭和35年に米国から初めて輸入されました。